

綾町立綾中学校 ― 持続可能な町づくりをするための SDGs

宮崎県綾町にある綾町立綾中学校は、綾ユネスコエコパーク内に位置しています。綾中学校では地域の自然を活かした総合的な学習や、生徒会を中心とした SDGs を意識した活動に取り組んでいます。今年度は「Action 今動き出せ私達の未来に向かって」をスローガンに、様々な活動を展開しました。

あいさつ運動 コロナ禍で一時中断していた「あいさつ運動」を再開し、挨拶の習慣を広げる取り組みを進めています。運動を通じて、生徒一人一人が主体的に元気な挨拶をすることで、中学校が活性化するとともに、学校内外での繋がりが深まることを期待しています。この取り組みは、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに」と 11「住み続けられるまちづくりを」に繋がっています。

つい DAY 活動 毎週水曜日には「つい DAY」としてペットボトルキャップの回収活動を実施。今年度は 127kg、約 6 万 3500 個のキャップを回収し、これにより 32 人分のワクチンを寄付することができました。活動の成果を数値化することで参加意欲を高める工夫を行っています。

森の健康診断と植樹活動 総合的な学習の時間には、「イオン環境財団」と連携して、イオンの森で樹木の成長測定を行い、二酸化炭素吸収量を算出する取り組みを続けています。今年の調査では、174 本の樹木が年間 15.1t の二酸化炭素を吸収していることがわかり、これは地域の持続可能な発展に寄与しています。この活動は SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」と 15「陸の豊かさを守ろう」に関連しています。

照葉樹林プロジェクト 「綾の照葉樹林プロジェクト」に関連して、1 年生がどんぐりを育てて苗を作り、3 年生がそれを元の林に植樹する活動を行っています。エコパークセンターや林野庁と連携したこの取り組みは、地域の自然環境を保全し、次世代に継承する重要な学びとなっています。

ユニクロ服のチカラプロジェクト 3 年生は、ユニクロの“届けよう、服のチカラ”プロジェクトに参加し、子ども服を回収して、難民支援に役立てる活動を行いました。このプロジェクトは、SDGs 目標 10「人や国の不平等をなくそう」、12「つくる責任つかう責任」、16「平和と公正をすべての人に」に貢献しています。

未来への展望 綾中学校では、これからも地域や自然との繋がりを重視し、持続可能な社会の実現に向けた活動を続けていきます。活動の目的を理解し合いながら、生徒一人ひとりが

主体的に行動し、未来をより良いものにするための学びを深めていきます。